

1. 日本と海外の医師の労働時間当たりの医師数

脳神経外科 3.4

整形外科 2.0

外科 1.5

胸部外科 1.4

内科 1.1

全臨床医 0.9

産婦人科 0.8

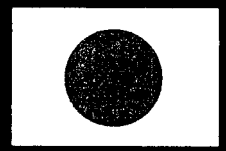
小児科 0.5

麻酔科 0.4

家庭医学科

アメリカ：2004.6

日本：2002



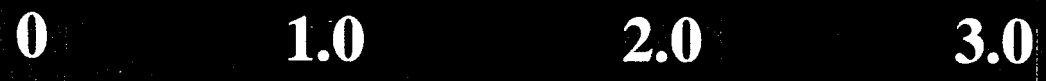
EU諸国で研修医の労働時間が段階的に制限；
2009年から週48時間

米国では2007年から全レジデントに週80時間—医師が病院に属さず患者ケアをレジデントに頼っているの
で主治医制度が崩れる

国際社会の論調は”過剰からから不足”へ変化している
供給側の変化：女性医師、若年医師の増加、高齢医師の
早期退職、

需要側の変化：疾病転換による必要サービスの変化

厚生労働省内 医師の需要に関する検討会（矢崎義雄座長）長谷川敏彦（国立保健医療科学院）委員が研究報告 日本医事新報 4221（2005. 3. 19）、p85



ドクターフィー（医師収入）内訳

民間保険

マネージドケア
Managed care(HMO,PPO,POS)

→ 55%

出来高払い保険
Indemnity

→ 10%

公的保険

メディケアー—Medicare
高齢者保険

→ 20%

メディケイドMedicaid
低所得者保険

→ 15%

無保険者

の診療もせざるを得ない

→ 5%



民間保険の支払いもメディケアーの支払いに準じている

ホスピタルフィーの患者請求方式~1992

メディケア(公的高齢者保険)1965~

1)CPR方式 ~1992customary,prevailing,&reasonable charge payment

(慣行的、一般的、適正な料金)医師が決めた金額
公定価格、固定価格ではなく一物多価
同じ手術でも外科医により設定料金が異なる
地域により2~3倍の差がある
保険会社によって料金が異なる
いわば医師が勝手に請求していた

2)相対評価点数 RBRVSを導入1992~

(DRG/PPSをホスピタルフィーに導入1983~)

ドクターフィーの患者請求方式1992~

メディケア(公的高齢者保険)1965~

1)CPR方式 ~1992 : 一物多価、いわば勝手に請求

2)相対評価点数 RBRVS (定額支払い) を導入1992~ :

- 一物一価 定額
- “アメリカではすべての医師に全国統一の診療報酬を採用することは一つの革命であった”
- 地域による支払いの差は全国平均の10%以内

民間保険もメディケアRBRVSに準拠

ドクターフィー相対評価点数 RBRVSとは？

各医療サービスの技術的難易度を示す点数

1) 仕事量PW

医師の人件費(技術料)

2) 診療費用PE

開設経費、医師以外の人件費、材料費
消耗品

3) 医療過誤保険料M

医師賠償責任保険PLIの保険料、訴訟費用

地域格差係数GPCI

X

4) 全国統一の一点単価(転換係数)

1)仕事量PWの評価 (相対評価点数 RBRVS-1)

ハーバード大学RBRVS研究班がが医師団に電話インタビュー、面談を重ね、研究をすすめて定義

1)医療サービスに要する時間 time spent

2)専門技術の肉体的尽力 technical skill

and physical effort

3)専門技術の精神的尽力 mental effort

4)患者のリスクからの精神的ストレス stress

診断コード CPT physicians' Current Procedure Terminology

に基づいた各医療サービスの技術的難易度を示す点数

仕事量の地域格差係数GPCI は0.97~1.02の中に入る

**Hysterectomy(婦人科) は
Psychotherapy(精神神経科) 45分間の
何倍の仕事量に相当するかを相対評価**

- 1)医療サービスに要する時間：2倍
 - 2)専門技術と肉体的尽力：4.47倍
 - 3)専門技術の精神的尽力：3.8倍
 - 4)患者のリスクからの精神的ストレス:4.24倍
- 合計：4.99倍



手術(医療サービス)のドクタフィー 相対評価点数RBRVS Pittsburgh, Pennsylvania

NSF NeurosurgicalFocus

Procedure (CPT code)	P Work RVU 医師の 仕事量	GPCI 地域 格差 係数	Practice Expense RVU 診療費 用	GPCI 地域 格差 係数	Mal- practice RVU 保険料	GPCI 地域 格差 係数	Total RVU	Conversi on Factor ドル	Total pay
lumbar disc op (63030)	12	0.989	9.62	0.93	2.21	0.705	22.37	38.251	\$855.67
cervical disc op (63075)	19.41	0.989	13.5	0.93	3.73	0.705	34.38	38.251	\$1315.07
aneurysm (61700)	50.52	0.989	27.76	0.93	10.18	0.705	82.95	38.251	\$3172.92 約35万円
focus radiotherapy (61793)	17.24	0.989	10.87	0.93	3.51	0.705	29.63	38.251	\$1133.55

各医療サービスの技術的難易度を示す点数

ALAN M. SCARROW.:Physician reimbursement under Medicare Neurosurg Focus 12 (4):Article 8, 2002,